

市議団ニュース

連絡先

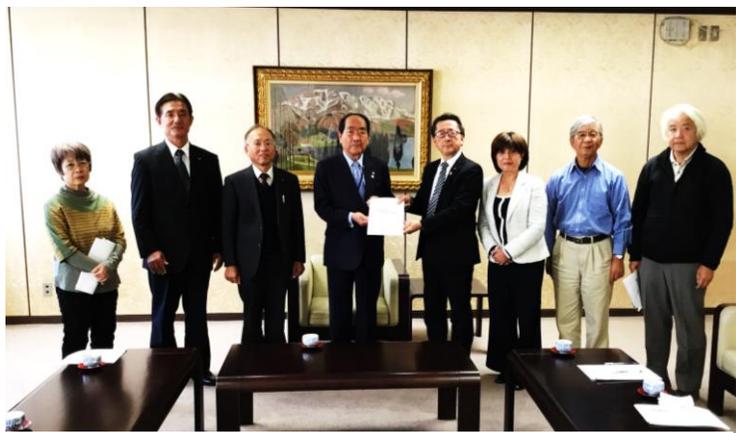
2017年11月26日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



田中市長に予算要望書を手渡す参加者。11月6日、市役所で。

市に2008項目提案

11月6日、議員団は、日本共産党久喜市委員会のメンバーとともに田中市長に2018年度の予算要望書を手渡しました。

杉野団長は「国政での安倍暴走政治によって、医療・福祉のさらなる後退と国民負担増が進められる中、久喜市政が荒波から市民を守る防波堤になっていただきたい。そのため提案です。」と説明。田中市長は「しっかりと受け止め、検討させていただきます。」との表明。その後、懇談し、参加者から「保育の待機児解消」の要望などが出されました。

暮らししも地域も守る予算に！予算要望書提出する！

主な要望項目です

一、憲法を生かした市民の暮らしと権利を守る「ルールある経済社会」をめざすこと

◆市内で働く市民の暮らしと雇用をまもること。国に働き方の改革を求めること

二、医療福祉の充実をはかり、市民生活を守ること

◆済生会栗橋病院の存続を求めること

◆介護保険制度見直しでは、サービスの充実と、負担増はしないこと

◆国保は県単位化になっても、これ以上の増税はしないこと

三、生活環境を整備し、市民が安全・安心で暮らしやすい街づくりをすすめること

◆大雨冠水対策を抜本的に進めること

◆デマンド交通は、エリア越え・市境越えを実現すること

四、教育・文化・スポーツの向上を図るために

◆小中学校の給食は、センター方式ありきではなく、自校方式転換を図ること

◆市立図書館はビジネスの場ではない。指定管理者制度導入はしないこと

◆「小中学校の統廃合」は関係者の声をよく聞き、合意なき進め方はしないこと

五、市内の商工業と農業の営業を守り振興を図るために

◆振興条例の支援策具体化を急ぐこと

◆住宅リフォーム・商店リニューアルのた

め助成制度を創設し、経済振興を図ること

六、地方政治の充実と地方財政の確立を

◆各種市税の徴収は、生活困窮者に減免や猶予を周知する等、誠意ある対応を求める

七、地域の居住環境から地球環境を守るために

◆アスベスト被害者の早期救済を国に働きかけること。また、民間建築物のアスベスト使用実態を調査すること

八、平和を守るために

◆「非核平和都市宣言」を行うこと

◆対話による平和外交を国に求めること

九、東日本大震災の対策と支援をつよめるために

◆すべての被災者に対して「再建支援金」など、必要な支援を届けること

十、理科大撤退後のまちづくりは、なによりも市民合意と環境を大切にすすめること

◆大学跡地では、周辺住民の反対を押し切って巨大物流倉庫が建設されているが、開発による生活環境の悪化については、それを最小限に抑える必要がある

①交通渋滞、大気汚染、騒音、雨水排水

②県道12号線の歩道整備、市民や児童の安全な通行を保障すること

③倉庫火災発生などに備えた、安全対策、各種訓練を実施すること

子どもたちを第一に！給食請願書提出しました

11月16日「久喜市の学校給食を考える会」は、自校調理方式への転換を求め請願書を議会に提出しました。

日本共産党久喜市議団と「市民の政治を進める会」の議員が紹介議員となりました。会ではこの間、賛同署名に取り組み、寄せられた署名は1万626筆になりました。（16日現在）署名運動には、保護者を始め、栄養士さんなど、広範な市民のみなさんが参加しました。

※なお、請願書のタイトルは、「子どもたちを第一に考えた学校給食を・巨大給食センター建設方針を見直し、既存の施設を生かしつつ、自校調理方式への計画的な切り替えを求めます。」となっています。



請願書を提出する会のメンバーと議員